

山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂（参考）

＜産業の国際競争力強化に向けた産業基盤の整備促進＞（P8）

- 自動車産業の構造変化に応じた事業展開の促進や企業の研究開発力の強化や人材の育成を追記

県内企業の国際競争力の強化を図るため、国際バルク戦略港湾をはじめとする物流コストの削減に寄与する港湾の整備を促進するとともに、地域の課題や利用者ニーズを踏まえ、物流等基盤の強化に資する幹線道路網の整備を促進します。

また、重要な産業インフラである工業用水の安定供給体制の構築を図るため、周南地区や宇部・山陽小野田地区における厳しい渇水や慢性的な水不足、地域的な需給のアンバランスの解消等に向けた水資源の確保や渇水対策を進めるとともに、本格的な更新時期を迎える管路等の老朽化対策を推進します。

併せて、瀬戸内コンビナート企業群の国際競争力の強化に向け、各地域における企業間連携の取組を促進するとともに、自動車新時代に対応したイノベーションの創出を図ります。

さらに、産業イノベーションの展開に向けて、企業の研究開発力の強化を図るとともに、技術者・研究者等の人材の育成を進めます。

＜地方から全国をリードする医療関連産業の育成・集積＞（P8）

- ヘルスケア関連産業の創出・育成を追記

「医療関連産業クラスター構想」に基づき、本県の優れた立地環境等を活かし、県・県内企業・大学・医療機関・関係機関等が連携した全県的推進体制による取組の推進や、付加価値の高い研究開発や事業化への支援、研究開発機能の強化により、全国をリードする医療関連産業の育成・集積を進めます。

また、ヘルスケア関連産業分野に着目した新産業創出に向けた支援機能の整備や関連製品・サービス開発に向けた実証事業の展開などにより、ヘルスケア関連産業の創出・育成を進めます。

＜強みを活かした水素利活用による産業振興と地域づくり＞（P9）

◆KPIの追加

- ・水素分野への県内中小・中堅企業参画数 [16社（H28年度）→27社]
- ・水素分野におけるコネクタ・ハブ・サプライヤー企業の売上額 [→359,000千円]

新く新たな可能性を拓くバイオ関連産業イノベーションの創出＞（P9）

- バイオ関連産業イノベーションの創出を新たに記載

化学・医薬品などの産業集積や、医療、環境、エネルギー分野での産学公連携ネットワークなどの本県の強みを活かし、県・県内企業・大学・関係機関等が連携した全県的推進体制の整備や研究開発拠点の機能強化等により、バイオ関連産業の育成・集積を進めます。

◆KPI の追加

- ・バイオ関連分野の事業化件数 ー → 2 件
- ・バイオ関連分野での研究開発等に係るグループ等の組成数（累計）[ー→10 件]
- ・バイオ関連産業推進協議会への参画企業・機関等の数（累計）[ー→120 社・機関]

<新たなビジネスや雇用を創出する創業や事業拡大に対する支援の強化> (P10)

- 地域中核企業の創出・成長支援や、新サービス・新事業創出や生産性向上に向けた IoT 導入促進を追記

地域の経済と雇用を支える中小企業の「源泉」となる創業を促進するため、「創業するなら山口県」の実現に向けて、全国初の女性創業応援会社による県と金融機関、地元企業が一体となった女性の創業支援や、円滑な創業に向けた支援の強化、夢を実現したい女性に対する創業支援、優れた技術から製品を生み出すベンチャー企業に対する創業支援、関係支援機関とのネットワークの強化による創業支援体制の充実により、きめ細かな創業支援を進めます。

また、県経済を牽引し、地域の中核となる企業の創出・成長支援、新サービス・新事業創出や生産性向上に向けた IoT 等の導入の促進、後継者問題を抱える中小企業等の円滑な事業承継に向けた支援の強化、IT の活用などによる女性や若者のニーズに対応する雇用の場の拡大に向けた商業・サービス産業の振興や地域商社による県産品の大都市圏への売り込み強化を図ります。

◆KPI の追加

- ・地域経済牽引事業による付加価値増加額 [ー→76.4 億円]
- ・中小企業の IoT 導入率 [3.9% (H28 年度) →13%]
- ・助成金を活用した IoT 導入により生産性が向上した企業数 [2 社 (H29 年度) →22 社]

<地域のモノづくり企業のポテンシャルを引き出す支援の強化> (P11)

- データサイエンティストの育成や衛星データを活用した新事業創出に取り組むやまぐちSPACE HILL構想を追記

独自性や優位性のある技術力を持ち、新製品の開発等による経営革新や技術革新等に取り組む中小企業に対して、企業の成長段階に応じて、コーディネータを積極的に関与させる「山口型」のハンズオン支援や第二創業支援、技術の高度化・ブランド化、マーケティング・新事業展開・販路開拓、ステップアップ、海外販路開拓、先端産業分野での受注体制の構築を行うとともに水産インフラ輸出構想を推進することにより、企業の成長を促進します。

また、衛星データ活用による新事業創出に向けた産学公の共同研究に取り組むとともに、山口大学におけるデータサイエンティストの育成や衛星データ解析技術等の最先端研究と連携して、衛星データを活用した新事業創出に取り組む企業への支援を強化するやまぐちSPACE HILL構想を推進します。

◆KPI の追加

- ・大学組織改革の実現（山口大学）
 - 〔－ → 共通教育科目にデータサイエンス科目を導入（全学必修化）、
 - － → 数理・情報科学教育院設置〕

<地域産業を支え、次世代に引き継ぐ人材の確保・育成> (P11)

- 企業の生産性向上や人材育成への支援を追記

本県のものづくり産業を牽引する人材の育成を図るため、「生産性向上・人材創造拠点」による企業の生産性向上と産業人材の確保・育成を一体的に支援するほか、産業技術センターの技術支援を通じた中小企業の中核的な技術人材の育成や、山口大学等を中心とした次世代イノベーション人材等の育成、高等産業技術学校を中心とした基礎的な技能・技術を有する人材の育成を進めます。

また、ものづくり現場における指導者の育成をはじめとした技能・技術の円滑な継承と技能の振興などを進めるとともに、専門高校等での地域産業を支える将来のスペシャリストの育成や、将来的にも地域を支え得る建設産業の人材の確保・育成を進めます。

<農林水産業の新たな担い手と受け皿となる法人経営体の確保・育成> (P12)

- 「農林業の『知』と『技』の拠点」の形成を追記

全国に誇る定着支援給付金など日本一の担い手支援策により、農林水産業の元気と活力の源である新規就業者の確保・定着を進めるとともに、新規就業者の受け皿として大きな役割を果たす集落営農法人及び集落営農法人連合体の育成・経営発展の加速化、農山漁村女性企業の育成に取り組みます。また、農業大学校や農業試験場等を統合し、「農林業の『知』と『技』の拠点」を形成します。

<県産農林水産物の販路拡大> (P13)

◆KPI 目標値の修正

- ・農林水産物の輸出による売込商品数 50 商品 → 90 商品

<需要拡大に対応した生産体制の強化> (P13)

◆KPI 目標値の修正

- ・酒米生産量 600 t → 660 t

<地域資源を活用した「やまぐち観光維新」の推進> (P14)

<明治維新 150 年を契機とする観光需要の拡大> (P15)

◆KPI 目標値の修正

- ・観光客数 3,000 万人 → 3,350 万人

＜外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進＞ (P15)

◆KPI 目標値の修正

- ・外国人延べ宿泊者数 8万人 → 17万人
- ・クルーズ船寄港回数 20回 → 80回

＜大学等との連携・協働による若者の定着促進＞ (P16)

◆KPI 目標値の修正

- ・大学生等の県内就職割合（山口しごとセンター登録者） 50%超 → 56.1%

＜みんなが活躍し、定着できるやまぐちの実現＞ (P17)

- 外国人の就労の促進を追記

高齢者や障害者が地域で生き活きと活躍し、希望を持って生活していくことができるよう、職業訓練や就職面接会等の実施、企業の認定制度の活用等により、高齢者や障害者の就労を促進します。

また、外国人留学生が働きやすい環境整備や、企業との交流会等により、外国人の就労を促進します。

◆KPI 目標値の修正

- ・就労継続支援B型事業所における1か月の工賃 17,327円 → 18,419円

＜東京圏等からのひとの還流、移住の推進＞ (P18)

◆KPI の追加

- ・企業と人材のマッチング件数(累計) [24件 (H29年度) →60件]
- ・企業と人材ニーズ等に係る相談件数 (累計) [32件 (H29年度) →600件]

＜政府機関や企業の本社機能等の地方移転の促進＞ (P18)

- 東京圏の大学のサテライトキャンパス等の県内設置の促進を追記

本県へのひとの流れが作り出せるよう、本県の地域特性を活かした政府関係機関の県内誘致を積極的に進めるとともに、本県独自の支援制度を活用し、本社機能の移転・拡充による地方拠点強化を推進します。

また、東京圏の大学のサテライトキャンパス等の県内設置を促進します。

＜妊娠・出産・健やかな成長のための保健医療サービスの充実＞ (P20)

◆KPI 目標値の修正

- ・小児救急医療電話相談の件数 (年間) 10,000件 → 11,100件

＜子どもを守る取組の推進＞ (P20)

- 子どもの貧困問題への対応を追記

子どもの安全確保、健全育成を推進するため、児童虐待防止対策や社会的養護の充実に努めるとともに、相談支援機能の充実・強化、子どもの居場所づくりや家庭学習の支援など子どもの貧困問題への対応を図ります。

また、多発する犯罪から子どもを守る対策を推進するとともに、子どもを悲惨な交通事故から守るため、通学路における交通安全対策を推進します。

◆KPI の追加

- ・「子どもの居場所づくり」実施市町 [1 市町 (H29 年度) → 3 市町]

＜やまぐちの未来を担う子どもたちを育む教育環境の充実＞ (P22)

- 学校における働き方改革の推進、教職員の資質能力の向上を追記

グローバル化・高度情報化の進展や知識基盤社会の到来など、急速に変化する社会において求められる基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力などの確かな学力を身に付け、生涯にわたって学び続ける子どもたちを育成します。

また、学力向上やいじめ・不登校など、子どもたち一人ひとりが抱える課題が複雑・多様化する中、これらの諸課題に適切に対応することができるよう、きめ細かな指導体制の整備、相談・支援体制づくりを推進するとともに、学校における働き方改革の推進や教職員の資質能力の向上等を通じて、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境づくりの充実を図ります。

＜ひとの交流を促進する高速交通ネットワークの整備＞ (P23)

- 新幹線の利便性向上を追記

県民の利便性の向上を図り、ビジネス、観光両面での利用を促進するため、山口宇部空港・岩国錦帯橋空港等について、利便性の向上や、山口宇部空港における国際定期便の実現、県内駅への停車本数の増加やバリアフリー化等新幹線の利便性の向上など、高速交通ネットワークの整備を進めます。

◆KPI 目標値の修正

- ・空港の利用客数（年間、岩国錦帯橋空港） 40 万人 → 51 万人

＜地域住民が主体となった持続可能な地域づくりの推進＞ (P24)

- 地域経営力の向上に向けた取組を追記

「やまぐち元気生活圏」を支える中核的組織として、新たな地域コミュニティ組織づくりと「地域の夢プラン」作成を促進するとともに、地域づくりリーダーの育成・確保に向けた取組の強化や、多様な人材の力を結集した「やまぐち中山間応援隊」による地域づくり支援など、様々な人材とも連携しながら、地域住民が主体となって地域の課題を解決していく地域づくり活動を推進します。

また、地域経営力の向上による持続可能で自立した中山間地域の創造を図ります。

＜地域の医療を支える医師・歯科医師・薬剤師・看護職員等の確保・育成＞ (P26)

- 歯科医師、薬剤師等の確保対策を追記

地域や診療科間の医師の偏在による医師不足を解消していくため、若手医師や不足している診療科の医師確保を図るとともに、女性医師の就業支援や、今後、需要の増加が見込まれる看護職員の確保・育成対策を進めます。

また、在宅医療への対応のため、医科歯科連携の促進や適切な服薬指導など医療の質の向上に向けた歯科医師、薬剤師等の確保を進めます。

◆KPI の追加

- ・健康サポート薬局に係る研修修了薬剤師数（累計）[175人（H29年度）→255人]

＜救急医療体制の充実＞ (P26)

◆KPI 目標値の修正

- ・小児救急医療電話相談の件数（年間） 10,000件 → 11,100件

＜地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築＞ (P26)

- 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備、健康づくり対策の充実を追記

高齢化が進行する中で、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療と介護の連携強化や、在宅医療提供体制の整備、認知症対策、身近な地域における重層的な見守り・支え合い体制の整備、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備などを推進するとともに、介護職員の確保や資質向上に取り組み、「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。

また、高齢者を始め、県民誰もが生涯を通じて健康に暮らし、元気で活躍できる社会を実現するため、健康寿命の延伸に向けて、健康づくり対策の充実を図ります。

◆KPI の追加

- ・福祉総合相談支援センターの設置・運営 [一→設置・運営]
- ・健康寿命

日常生活に制限のない期間の平均

[男性 72.18年、女性 75.18年（H28）→延伸させる]

日常生活動作が自立している期間の平均

[男性 79.19年、女性 83.80年（H27年度）→延伸させる]

◆KPI 目標値の修正

- ・認知症サポーター養成数 125,000人 → 142,000人